

kins University Press, Baltimore, 1971.

【編著書】

McC. Brooks, Ch. and Levey, H.A.: *Humorally-Transported Integrators of Body Function and the Development of Endocrinology*. 183—238 in McC. Brooks, Ch. and Cranfield, P.F. (eds.): *The Historical Development of Physiological Thought*. Hafner, New York, 1959.

六 投稿原稿は、コピーを一部添付すること。原稿は著者校正の際も原則として返却しないので、手元にコピーを一部残すこと。

七 著者校正は、原則として原著・総説・研究ノート・広場・資料を対象とし、初校のみとする。校正は印刷上の誤植を訂正するに留め、原稿の変更や、その他の組み替えは認めない。校正刷りの返送期日を厳守すること。期日までに返却されない場合は責とみなす。

八 刷り上り一〇印刷ページ(四〇〇字詰原稿用紙で二四枚)までは原則として無料とし、超過分と図表製版の実費は著者負担とする。

九 論文別刷は五〇部単位とし実費で作製する。別刷希望者は校正刷同封の申込書に部数を明記すること。

一〇 原稿の送り先

〒一一三 東京都文京区本郷二丁目一一一

順天堂大学医学部医史学研究室内

日本医史学雑誌編集委員会

編集後記

阪神大震災は地震の恐ろしさを目のあたりに見せた。すさまじい被災のみならず、その影響はありとあらゆる方面に及んでいる。本学会員も被災しており、ただ無事であられんこと、そして一日も早い復興を願わずにはいられない。本誌が罹災地域の会員の手許に届くかも心配している。

本号には原著三報、研究ノート二報、資料一報ほかを載せることができた。最近このように充実してきたのは原著投稿が増えているからで、会員の活発な研究活動の反映といえる。まことに喜ばしい傾向であり、各執筆者に感謝申し上げるとともに、今後もしどしどし投稿があらんことを願いたい。

御投稿いただいた論文には、学会口演を完成されたものが多い。あるいは学会未口演の論文もある。後者の場合、論文投稿時期と学会演題募集時期が近いと、時に困ってしまう。

本誌の論文掲載は審査等で投稿から半年以上かかることがあるので、その前に要旨を学会演題に出すのも可能だからである。しかし審査がスムーズに進むと、学会口演前に論文が掲載されてしまうことも起こりうる。すると無意味どころか、ルール違反になりかねない。

このような可能性があるときは、論文投稿時にその旨を是非ひとこと書き添えていただきたい。たとえ論文審査が早く進んだ場合でも、学会抄録号以降に掲載されるよう希望することに問題はなく、これに配慮するのも編集委員会の責務と考えている。

(真柳 誠)